

「第22回 中畑清杯争奪中学校女子ソフトボール大会」を開催

5月23日(土)・24日(日)の2日間、「第22回中畑清杯争奪中学校女子ソフトボール大会」が、境町大歩グラウンドで開催されました。境一中をはじめ、茨城・埼玉・千葉・栃木の各県から、合同チーム4校を含む16チームが参加し、連日熱戦を繰り広げました。境一中は2勝2敗で、第7位という成績を収めました。

大会には、読売巨人軍OB会会長の中畑清さんが昨年に引き続き参加され、中畑さんと各チームの選手との記念撮影や、試合後には、じゃんけん大会も行われ、会場は大いに盛り上がりました。和やかな雰囲気の中で選手同士の親交も深まり、思い出に残る大会となりました。

また、スペシャルゲストとして参加いただいた、トヨタ自動車女子ソフトボール部元監督の若杉賢二さんや、北京オリンピック・ソフトボール金メダリストの坂井寛子さんによる技術指導も行われました。選手たちは目を輝かせながら熱心に指導を受け、高度な技術や実践的なプレーを学ぶ貴重な機会となりました。



選手宣誓を行った境一中キャプテン 飯田彩恵さん



境一中ソフトボール部の選手と中畑清さんとの記念撮影



中畑清杯参加者の集合写真

境トリニタスが茨城県知事杯サッカー総合選手権大会で優勝し、関東大会出場

4月12日(日)にひたちなか市総合運動公園陸上競技場で開催された「第37回茨城県知事杯サッカー総合選手権大会」で境町を拠点に活動する「境トリニタス」が見事優勝を飾りました。おめでとうございます。6月に開催された関東大会では、惜しくも決勝で敗れ、全国大会出場はかないませんでしたが、その経験を糧に今後さらなる飛躍を遂げられることを期待しています。



境トリニタスの皆さん(知事杯での優勝した際の記念写真)



ゴールを狙う石津選手

鳥取県岩美町と沖縄県国頭村と境町の3町村で危機事象発生時相互応援協定締結

7月18日(土)、鳥取県岩美町役場で、鳥取県岩美町、沖縄県国頭村、境町の3町村による「危機事象発生時における相互応援協定」の締結式が行われました。近年、自然災害の激甚化・広域化が進む中、遠隔地である地理的特性を生かし、災害時には職員の派遣や避難所の提供、資機材・支援物資の供給などを相互に行います。平時から連携を深め、迅速な災害対応と復旧・復興を図るとともに、住民が安心して暮らせる地域づくりを進めていきます。



締結の様子(写真左から知花靖村長、長戸清町長、野尻智治副町長)

令和8年7月熊本地震 境町が代理寄附を受付開始

7月28日(火)に発生した熊本地震により、熊本県では、建物の倒壊、断水などの甚大な被害がでています。被災自治体の負担にならない支援方法として、境町では、熊本県八代市・宇城市・宇土市・熊本市・御船町・熊本県のふるさと納税の仕組みを活用した「代理寄附」の受付を行っています。境町が代理で行うことにより、被災自治体は寄附金受領書の発行やワンストップ特例申請書の受付事務などの事務負担が軽減され、現地での復旧作業や被災者へのケアに注力できます。



境町区長会研修で栃木県那須塩原市と矢板市を視察

7月8日(水)、9日(木)の2日間、境町区長会(齊藤雅浩会長)の研修で、初日に那須塩原市立図書館「みるる」を視察後、那須塩原市役所を訪れ、渡辺美知太郎市長から市の主要施策について説明を受けました。

2日目は矢板市のスポーツ複合施設を訪れ、森島武芳市長から市政や行政区に関わる取組について学び、午後には住民主体のコミュニティ活動を活発に展開している「コリーナ行政区」の説明を受けました。

2日間を通して各地域の特色ある取組を学び、今後の地域づくりにつながる有意義な研修となりました。



那須塩原市役所での記念撮影



矢板市スポーツ複合施設での記念撮影

夏休み期間に静かで広い議場を自習室として開放

暑さが厳しい中、エアコンの効いた涼しい環境で自主学習に取り組んでもらおうと、境町議会は7月21日(火)～8月21日(金)まで(休日、お盆期間除く)、議場35席を午前9時～午後5時まで開放しました。中学生以上が対象で町外の方も利用できます。「普段は入れないところで勉強することが楽しく、とても静かな空間で、勉強するのによい環境でした。」「家だと集中できない悩みがあったので、ここで勉強させてもらえてとてもありがたかった。」といった好評の声が多く寄せられました。



自主学習をする様子。静かで広いスペースで集中しています。